

クラス番号	614	担当教員名	山口 みほ
テーマ	医療ソーシャルワークの実際から現代の医療福祉問題を考える		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;研究報告書&gt; 「薬物依存症者の回復支援に関わる制度的社会資源の現状と課題」平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金『薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状を課題に関する研究』（主任：和田清）2010 年 3 月</li> <li>・ 共著「職場外スーパービジョンの試み」『日本福祉大学社会福祉論集』第 119 号、2008 年 8 月</li> <li>・ 共著・宮田和明他編『現代の社会福祉入門』2006 年 5 月</li> <li>・ 共著・杉本貴代栄、須藤八千代編『私はソーシャルワーカー』学陽書房、2004 年 1 月</li> </ul>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード： 医療福祉、 医療ソーシャルワーク（MSW）			
<p><b>目的：</b>  患者・家族の抱える経済的・心理的・社会的問題が複雑化している現在、その解決・軽減のために活動する医療ソーシャルワーカー（以下、MSW と略）の役割の重要性も増し、業務内容も拡大しています。しかし、現実には MSW を配置していない医療機関も多く、配置されていても適切に機能していないケースもあり、患者・家族のニーズに十分に答えられているとは言い難い状況も散見されます。本ゼミでは、そのような MSW の実際を学ぶことを通して、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）患者・家族の生活にあらわれている医療福祉問題を具体的にとらえること</li> <li>（2）それらの問題に関わる制度・政策の実態をさぐること</li> <li>（3）患者・家族の生活問題の解決・軽減に資する援助（特にソーシャルワーク）のあり方を考えることを目指します。</li> </ol>			
<p><b>授業計画（内容、方法等）：</b>  ゼミ活動の内容・方法・スケジュールの詳細は、話し合っ決めていきたいと思ひます。あくまでもゼミ生による自主的・主体的なゼミ運営を期待します。  ただし、大まかな活動目標として、以下の取り組みを提示しておきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）3 年次前期に文献学習を行なった上で、後期に保健医療機関（MSW 部門）への訪問学習を計画・実施する</li> <li>（2）3 年次後期から、ゼミ・テーマの下に各自が自分の学習テーマを設定し、卒業研究の計画を立てる</li> <li>（3）3 年次の春休みにはゼミ合宿を行なう</li> <li>（4）4 年次の夏季までに「医療福祉実習」または「精神保健福祉援助現場実習」、もしくは同程度の課外実習、フィールド・ワーク等に取り組む</li> <li>（5）4 年次には 2 年間の総まとめとして卒業論文の作成に取り組む</li> <li>（6）ゼミ生全員が学習（研究）計画および学習（研究）成果の報告の機会を持つ</li> </ol> <p>この他、ゼミ生の立案・運営による企画（MSW または関係職種、患者・家族等によるゲスト講義や、患者・家族の当事者団体の活動への参与、事例検討、ロール・プレイ、ディベートなど）も随時取り入れていきます。  なお、卒業論文の作成と、保健医療現場での実習（課外でも可）もしくはフィールド・ワークは必須と考えてください。  その他、MSW 団体主催の研修会や患者会活動等の情報を随時紹介しますので、積極的に参加してください。</p>			
<p><b>使用テキスト：</b>  ゼミでの話し合いで決定します。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>総合病院の MSW、精神科診療所（アルコール依存症等の嗜癖問題の専門治療機関）の PSW（現在も週 1 日継続中）の経験を皆さんのゼミ活動のサポートに活かしたいと思ひています。</p> <p>MSW・PSW を目指している人や、本気で医療福祉を学びたいという人を歓迎します。</p> <p>副次的な目標になりますが、ゼミ活動を通して、これまでに養ってきた読む力・考える力・書く力・表現する力・他者と協働する力などの力量を十分に発揮すること、さらに高めることも目指したいと思ひています。これらの力は、保健・医療・福祉の現場で専門職として働く場合にも、当然必要とされるものです。</p>			